

第86期

期 末 報 告 書

(平成30年4月1日から)
(平成31年3月31日まで)



中日本興業株式会社

令和元年6月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は第86期（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

事業の概況	2
貸借対照表	5
損益計算書	6
会社の状況	7
「株主ご優待券」について	10
株主メモ／株式等に関するマイナンバーのお届けのお願い	

事業の概況

当事業年度のわが国経済は、通商問題の動向による海外経済の不確実性や相次いだ自然災害の影響により、不透明な状況であるものの、堅調な企業業績や個人消費の改善などにより、景気は緩やかに拡大しました。

このような状況のもと当社では、サービスの充実を図り、感動をお届けできる商品のご提供に努めてまいりました。

この結果、売上高は38億54百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は1億51百万円（前年同期比35.7%増）、経常利益は1億64百万円（前年同期比42.9%増）、当期純利益は1億4百万円（前年同期比149.0%増）となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

映画業界では、平成30年の全国入場人員が前年比3.0%減の1億69百万人、興行収入は、2.7%減の2,225億11百万円となりました。昨年度のカンヌ映画祭にてパルムドール賞を受賞した「万引き家族」、低予算の製作費ながらSNSや口コミで評判が広がった「カメラを止めるな!」、伝説的ロックバンド“クイーン”のボーカリストの伝記映画「ボヘミアン・ラプソディ」が大ヒットするなど、全国の年間興行収入では3番目の成績となりました。

「ミッドランドスクエア シネマ」では、名古屋駅前発展の効果もあり、年間興行収入の記録を更新し、動員、興行収入とも前年を上回ることができました。

当事業では、映画、ライブビューイングの他に、映画作品の舞台挨拶、アイドルによるライブイベントを積極的に実施するなど、当社独自の番組編成に努めてまいりました。

また、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」では、一部の座席に映画体験をさらに充実させる新音響システム「Vsound」搭載シートを設置、さらに、チケット購入時の混雑緩和を図るため、自動券売機を設置いたしました。

当事業年度は、邦画156作品、洋画169作品、アニメ75作品、ODS(映画以外のデジタルコンテンツ)288作品の合わせて、688作品(前期末比91作品増)を上映いたしました。

主な上映作品としまして、邦画では、6月公開「万引き家族」、7月公開「劇場版コード・ブルー ドクターヘリ緊急救命」、8月公開「カメラを止めるな!」、1月公開の「マスカレード・ホテル」、洋画では、7月公開「ジュラシック・ワールド 炎の王国」、8月公開「ミッション：インポッシブル／フォールアウト」、11月公開の「ボヘミアン・ラブソディ」、「ファンタスティック・ビーストと黒い魔法使いの誕生」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン ゼロの執行人」、7月公開「未来のミライ」、8月公開「インクレディブル・ファミリー」、12月公開の「シュガー・ラッシュ：オンライン」、ODSでは、11月公開のライブビューイング「竹内まりや シアターライブ」、1月公開のシネマ歌舞伎「沓手鳥孤城落月／楊貴妃」などの番組を編成いたしました。

また、飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」、名古屋市千種区の「LA BOBINE ガレットカフェ」では、店舗独自のイベントの実施やサービスの充実を図るとともに、おくつろぎいただける空間を提供し、満足していただける店舗創りに努めてまいりました。

その他新たな試みとしましては、東海エリア発の本格的テレビシリーズとなるアニメ「シキザクラ製作委員会」に参加をいたしました。

この結果、当事業では、売上高は35億32百万円、営業利益は1億44百万円となりました。

【アド事業】

当事業は、得意分野の映画関連を中心に、積極的な営業展開で販路拡大を図ってまいりました。

昨年8月には、東京都千代田区に「東京営業室」を開設しました。関東圏のお客様に対し迅速で充実したサポートを提供することで、より一層の取引強化とともに、更なる営業基盤の拡大と充実に努めてまいりました。

この結果、当事業では、売上高は3億21百万円、営業利益は6百万円となりました。

今後の見通し

今後のわが国経済は、海外経済が依然として先行きが不透明の状況が続くと予想され、また、消費税率引き上げによる影響も懸念されますが、雇用や所得環境の改善や堅調な企業収益が続くことが期待されます。

このような状況のもと当社では、お客様目線に立った一層のサービスの充実を図り、かつスピード感をもって、お客様の感動の創造に努めてまいります。

シネマ事業では、映画、ライブビューイング・舞台挨拶・ライブイベント等を積極的に実施する複合エンターテインメントシネコンにふさわしい個性的な番組編成に注力してまいります。

主な上映作品としまして、邦画では、7月公開「Diner ダイナー」、8月公開「劇場版 おっさんずラブ」、9月公開「人間失格」、12月公開の「男はつらいよ お帰り 寅さん」、洋画では、6月公開「アラジン」、7月公開「スパイダーマン：ファー・フロム・ホーム」、12月公開「スター・ウォーズ/ザ・ライズ・オブ・スカイウォーカー」、1月公開の「キャッツ」、アニメでは、7月公開「トイ・ストーリー4」、「天気の子」、8月公開の「ワンピース スタンピード」、11月公開の「アナと雪の女王2」、ODSでは、「シネマ歌舞伎」や「METライブビューイング」など、幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。

さらに、上質なアート作品をお届けする「アートレーベル」、コアなアニメ作品をお届けする「アニメレーベル」においても、より充実した番組編成をしております。

飲食部門は、健康に留意した食材の研究、商品の提供を心掛け、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいります。

アド事業では、「東京営業室」を軸とし、また、ご当地名古屋駅地区においても、積極的な営業展開を図るとともに、商品開発に努め、販路の拡大を目指してまいります。

サービス業を営んでいる当社は、より良い商品を提供すること、そして、より良いサービスを提供するための人材育成、教育をすることにより、お客様に選ばれる施設となるよう、一層の精進をしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,955,428	流 動 負 債	871,855
現金及び預金	1,282,982	買掛金	555,413
受取手形及び売掛金	255,067	リース債務	62,711
有価証券	300,000	未払法人税等	41,047
商 品	7,255	未払消費税等	19,306
前払費用	29,501	未払費用	91,510
預 け 金	68,433	賞与引当金	16,200
そ の 他	12,188	そ の 他	85,666
固 定 資 産	3,139,424	固 定 負 債	453,069
有形固定資産	(1,904,835)	リース債務	119,278
建 物	1,020,156	退職給付引当金	65,312
構 築 物	1,714	長 期 未 払 金	35,400
機 械 装 置	108,966	資 産 除 去 債 務	82,778
器 具 備 品	139,101	受 入 保 証 金	150,300
土 地	634,896	負 債 合 計	1,324,924
無形固定資産	(46,629)	純 資 産 の 部	
電 話 加 入 権	1,147	株 主 資 本	3,602,026
ソ フ ト ウ エ ア	45,158	資 本 金	(270,000)
そ の 他	323	資 本 剰 余 金	(13)
投資その他の資産	(1,187,958)	資 本 準 備 金	13
投 資 有 価 証 券	527,220	利 益 剰 余 金	(3,401,569)
関 係 会 社 株 式	10,000	利 益 準 備 金	67,500
差 入 保 証 金	592,176	そ の 他 利 益 剰 余 金	3,334,069
長 期 前 払 費 用	35,732	配 当 準 備 積 立 金	250,406
繰 延 税 金 資 産	22,829	別 途 積 立 金	2,380,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	703,663
		自 己 株 式	(△69,556)
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	167,901
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	(167,901)
資 産 合 計	5,094,852	純 資 産 合 計	3,769,928
		負 債 純 資 産 合 計	5,094,852

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		3,854,213
売 上 原 価		2,029,272
売 上 総 利 益		1,824,940
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,673,395
営 業 利 益		151,544
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	10,023	
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	1,571	
雑 収 入	1,971	13,566
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	14	
雑 損 失	1,035	1,049
経 常 利 益		164,061
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損		111
税 引 前 当 期 純 利 益		163,950
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	32,327	
法 人 税 等 調 整 額	26,711	59,039
当 期 純 利 益		104,911

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 状 況

■ 会社概要 (平成31年3月31日現在)

商 号	中日本興業株式会社	Nakanihon KOGYO. CO. Ltd.
本 社	名古屋市中村区名駅四丁目5番28号	
設 立	昭和29年7月23日	
資 本 金	2億7,000万円	
従業員数	54名	

■ 主要な事業所 (平成31年3月31日現在)

<映画館>

ミッドランドスクエア シネマ	(14)	名古屋市中村区
ミッドランドシネマ 名古屋空港	(12)	愛知県西春日井郡豊山町

<飲食店>

覚王山カフェ Ji.Coo.	名古屋市中村区
LA BOBINE ガレットカフェ	名古屋市中村区

<展示装飾および看板の製作、広告代理店>

中日本エージェンシー	名古屋市中村区
中日本エージェンシー 東京営業室	東京都千代田区

- (注) 1. () 内の数は、スクリーン数です。
2. 「ミッドランドスクエア シネマ」、および「LA BOBINE ガレットカフェ」は、当社と株式会社松竹マルチプレックスシアターズ（東京都中央区）との共同事業体が運営しております。

■ 役員（令和元年6月26日現在）

代表取締役 社長	服部 徹	感動創造本部本部長 企画営業部担当 経営企画部担当
取締役	貴田 吉晴	感動創造支援本部本部長・総務部担当 経営企画部上席部長 食文化創造室担当 総務部部長
取締役	小塚 康	感動創造本部副本部長・興行部担当 興行部上席部長
取締役	鵜飼 正男	(社外取締役)
取締役	大谷 信義	(社外取締役)
常勤監査役	佐藤 桂一	
監査役	岡本 安史	(社外監査役)
監査役	田中 誠治	(社外監査役)
執行役員	細川 秀樹	感動創造支援本部副本部長・経理部担当 経営企画部部長、経理部上席部長

ホームページのご案内

当社のホームページにて、事業内容、サービス案内、決算情報等に関する詳しい情報をご覧いただけます。

<http://www.nakanihonkogyo.co.jp/>

中日本興業 検索

■ 株式の状況 (平成31年3月31日現在)

発行可能株式総数 2,000,000株
 発行済株式の総数 530,856株 (自己株式9,144株を除く)
 株主数 2,851名 (前期末比5名増)

■ 大株主 (平成31年3月31日現在)

株 主 名	持 株 数	持株比率
東 和 不 動 産 株 式 会 社	40,000株	7.53%
トヨタ自動車株式会社	30,000株	5.65%
松 竹 株 式 会 社	20,000株	3.76%
岡 本 藤 太	5,500株	1.03%
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	5,400株	1.01%
服 部 徹	5,200株	0.97%
廣 野 純 弘	4,392株	0.82%
濱 谷 亘 匠	4,300株	0.81%
服 部 清 純	3,500株	0.65%
横 山 秀 昭	2,700株	0.50%

(注) 持株比率は、自己株式 (9,144株) を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況 (平成31年3月31日現在)

所 有 者	株 式 数	比 率
金 融 機 関	5,400株	1.00%
金 融 商 品 取 引 業 者	10株	0.00%
そ の 他 の 法 人	102,400株	18.96%
外 国 法 人 等	0株	0.00%
個 人 ・ そ の 他	423,046株	78.35%
自 己 名 義 株 式	9,144株	1.69%
計	540,000株	100.00%

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末現在の株主の皆様は8，9，10月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」および11，12，翌年1月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、決議ご通知に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末現在の株主の皆様は2，3，4月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」および5，6，7月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

	使用期間三ヶ月	半 期
	映画＋カフェ	映画＋カフェ
100株以上	5枚 + 1枚	10枚 + 2枚
200株以上	10枚 + 2枚	20枚 + 4枚
300株以上	15枚 + 3枚	30枚 + 6枚
400株以上	20枚 + 4枚	40枚 + 8枚
500株以上	25枚 + 5枚	50枚 + 10枚
1,000株以上	40枚 + 8枚	80枚 + 16枚
2,000株以上	50枚 + 10枚	100枚 + 20枚
4,000株以上	75枚 + 15枚	150枚 + 30枚

ご利用可能施設

映画館		住 所	電話番号
ミッドランド スクエア シネマ	1～7番 スクリーン	名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5F	(052) 527-8808
	8～14番 スクリーン	名古屋市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル2F	
ミッドランドシネマ 名古屋空港		愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内	(0568) 39-3911
カフェ		住 所	電話番号
覚王山カフェ Ji.Coo.		名古屋市中村区丘上町1-39 覚王山フロンテ2F	(052) 751-1234
LA BOBINE ガレットカフェ		名古屋市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル1F	(052) 583-5541

株主ご優待券のご利用については、当社ホームページをご覧ください。
<http://www.nakanihonkogyo.co.jp/company/>

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日・中間配当金9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所 第二部 (証券コード:9643)
インターネットアドレス	http://www.nakanihonkogyo.co.jp/

単元未満株式の買取、住所変更等、 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-232-711 (通話料無料)

インターネットアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式等に関するマイナンバーのお届けのお願い

- 株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。
- お届出が済んでいない株主様は、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。
- お手続き方法など詳細につきましては、証券会社等へお問合せください。

